

利根川河口堰管理所長の横田雅良です。利根川河口堰は、昭和46年の管理開始以来、今年で33年目を向かえています。これまで堰の管理を順調に遂行できましたのも地元、利水者のご理解、ご協力並びに関係機関のご指導によるものであり、お礼申し上げます。

このたび、河口堰に関わる様々な情報の発信を目的として、「河口堰だより」を創刊致しました。

この「河口堰だより」は季刊号で、今後年4回発行していく予定です。そして、「利根川下流沿川紀行」で地元の方々より地元の文化、歴史等を「紹介頂き」、「イベント案内」で地元のイベント関係の

創刊にあたって

地域を守る潮止め堰

河口堰だより

発行所
水産総合研究センター
利根川河口堰事務所
0478-86-0477



所長 横田雅良

情報を提供し、「河口堰だより」で管理所職員より河口堰で今やっていることなどを、「河口堰の四季」で河口堰周辺の四季の移り変わりを紹介していきます。

この「河口堰だより」を通じて、利根川河口堰が地元の皆様により親しまれ、より身近な施設となることを切望してやみません。

本紙が、皆様と私も利根川河口堰管理所との双方の情報交流の場として御利用いただけますようお願いいたします。



昭和30年代、海水の逆流により、農作物をはじめ生活用水が甚大な塩害を受けるようになりました。特に昭和33年の異常洪水による農作物の塩害による被害は、千葉県だけでも当時のお金で約4億円という甚大なものでした。

河口堰は、この昭和33年の塩害を契機として、河口から18.5km上流の地点に建設されたもので、昭和40年12月に工事

利根川河口堰の紹介

がはじまり、昭和46年6月に竣工しました。河口堰建設により、河川としての正常な機能は維持しながら、塩害を防止するとともに、堰を適切に操作することで新たに20%の水が水道用水、工業用水として供給できるようになりました。また、堰上流水位を調節することで平均2.5%の農業用水が供給できるようになりました。

河口堰の建設には当時のお金で約125億円かかりましたが、現在の貨幣価値で約0.8兆円の経済効果があるとされています。



水位・塩分観測所



閘門(船通し)



河口堰制水門

(施設の概要)
利根川河口堰
水門数：9門
閘門：1ヶ所
(閘門は船の通り道です)
魚道：左右岸各1ヶ所
(魚道は魚の通り道です)
黒部川水門
水門数：2門
閘門：1ヶ所
(閘門は船の通り道です)

河口堰の四季

魚の暴走族？

ハクレン



魚道で飛び渡るハクレン

ハクレンという魚ご存じですか？
全長1.5以上に成長することも珍しくない巨大魚です。
5月下旬頃、大雨が降ったあとの晴れた日に、この巨大魚が集団でジャンプして飛び渡る姿が話題になりました。

プしながら川をのぼっていく姿が利根川河口堰下流でよく見受けられます。そのジャンプたるや津まじく、あまりにジャンプしすぎて川から川岸に着地してしまうことも珍しくありません。

数百匹のハクレンが上流の栗橋付近の産卵場所を目指して、堰のゲートを飛び越え、魚道をジャンプしてのぼっていく姿は他を圧倒します。

まさに魚の暴走族です。

ハクレンは、アオコなどの植物プランクトンを餌とし、成長が早いことから、第二次世界大戦下の国民の動物性蛋白質料源として中国から輸入されたソウギ類の淡水魚で、昭和16より20年にかけて全国の養魚池、ため池、湖沼、河川などに放流して増産が図られました。



ゲートの下流に集まるハクレン

したのは利根川水系だけでした。

利根川水系のうちの主に常陸利根川(霞ヶ浦北浦)に生息していて、富栄養化の元凶である窒素やリン等を間接的に除去することで霞ヶ浦北浦の水質浄化に貢献していると言われています。

来年の5月下旬頃、魚の暴走族を見に利根川河口堰に是非お寄り下さい。



小学生の夏休みの様子

この広報紙に関するご意見・ご感想、並びに利根川河口堰へのご質問等はこちまでお寄せ下さい。また、施設見学も受け付けています。見学担当、総務課 松本(まつもと)、井藤(いふじ)までご連絡ください。
〒289-0811 千葉県香取郡東庄町新道2276番地
水産総合研究センター 利根川河口堰事務所
TEL 0478-86-0477 FAX 0478-86-3467
E-mail tonelako@tepozoon.np

編集後記

今回、初めて広報紙なるものの作成に携わりました。

どんな方々に読んでくれるのか？それよりも手に取って貰えるか？不安なものがあります。しかし、河口堰の事を少しでも知って頂きたいと思いつつながら作りました。

どんなことでも結構ですので、「ご意見・ご感想」をお待ちしています。

編集担当)



河口堰の職員で小見川町民レガッタに参加しました

